

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年3月19日

## 訪日外客数（2025年2月推計値）

◇ 2月：3,258,100人、2月として初めて300万人を突破

- 2月の訪日外客数は3,258,100人で、前年同月比では16.9%増となった。2月として過去最高であった2024年の2,788,224人を大きく上回り同月過去最高を記録し、また2月として初めて300万人を突破した。
- 一部市場において旧正月（春節）休暇が2月初旬まで続き、旅行需要の高まりがみられたほか、前月に引き続きスノー需要が高まる時期である中、豪州と米国を中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- ベトナムで単月過去最高を更新したほか、19市場（韓国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域、中東地域）で2月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

\* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2025年）（PDF・Excel）」

\* 最新の市場動向トピックスは下記リンク参照のこと。（※1・2月のトピックスは2025年4月上旬頃に掲載予定。）

<https://www.jnto.go.jp/statistics/market-info/market-topics/>

\* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

# 2025年 訪日外客数・出国日本人数

## 2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸率 Change %	2024	2025	伸率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,200 *	40.6 *	838,581	912,325	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,100 *	16.9 *	978,884	1,181,100 *	20.7 *
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)			1,219,789		
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)			888,767		
5 May	3,040,294 (2,758,219)			941,709		
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)			930,229		
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)			1,048,823		
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)			1,437,126		
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)			1,212,545		
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1~2 Jan.-Feb.	5,476,702 (4,934,725)	7,039,300 *	28.5 *	1,817,465	2,093,400 *	15.2 *
1~12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、\*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while \* stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

## 2025年2月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for Feb. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 2月	2025年 2月	伸率(%)	2024年 1月～2月	2025年 1月～2月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,788,224	3,258,100	16.9	5,476,702	7,039,300	28.5
韓国	South Korea	818,562	847,300	3.5	1,675,601	1,814,400	8.3
中国	China	459,463	722,700	57.3	875,551	1,703,000	94.5
台湾	Taiwan	502,237	507,300	1.0	994,525	1,100,700	10.7
香港	Hong Kong	205,884	195,500	-5.0	392,184	439,200	12.0
タイ	Thailand	101,443	116,800	15.1	192,028	213,600	11.2
シンガポール	Singapore	36,915	42,300	14.6	71,055	88,000	23.8
マレーシア	Malaysia	60,178	64,900	7.8	92,257	139,900	51.6
インドネシア	Indonesia	38,246	47,000	22.9	79,533	110,200	38.6
フィリピン	Philippines	65,217	66,700	2.3	121,993	138,900	13.9
ベトナム	Vietnam	60,181	73,700	22.5	104,783	124,100	18.4
インド	India	9,965	12,900	29.5	22,573	29,100	28.9
豪州	Australia	66,501	88,800	33.5	170,105	229,000	34.6
米国	U.S.A.	148,719	191,500	28.8	280,574	374,000	33.3
カナダ	Canada	33,895	44,500	31.3	65,567	86,800	32.4
メキシコ	Mexico	7,684	10,800	40.6	14,489	20,100	38.7
英国	United Kingdom	25,877	31,400	21.3	45,686	57,800	26.5
フランス	France	22,268	26,500	19.0	36,712	43,000	17.1
ドイツ	Germany	14,862	18,600	25.2	25,264	31,300	23.9
イタリア	Italy	7,555	11,100	46.9	14,434	19,900	37.9
スペイン	Spain	6,323	9,800	55.0	11,092	17,200	55.1
ロシア	Russia	2,907	5,700	96.1	6,149	10,600	72.4
北欧地域	Nordic Countries	8,919	12,000	34.5	16,358	21,200	29.6
中東地域	Middle East	6,224	10,800	73.5	12,110	22,700	87.4
その他	Others	78,199	99,500	27.2	156,079	204,600	31.1

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は暫定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are provisional, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

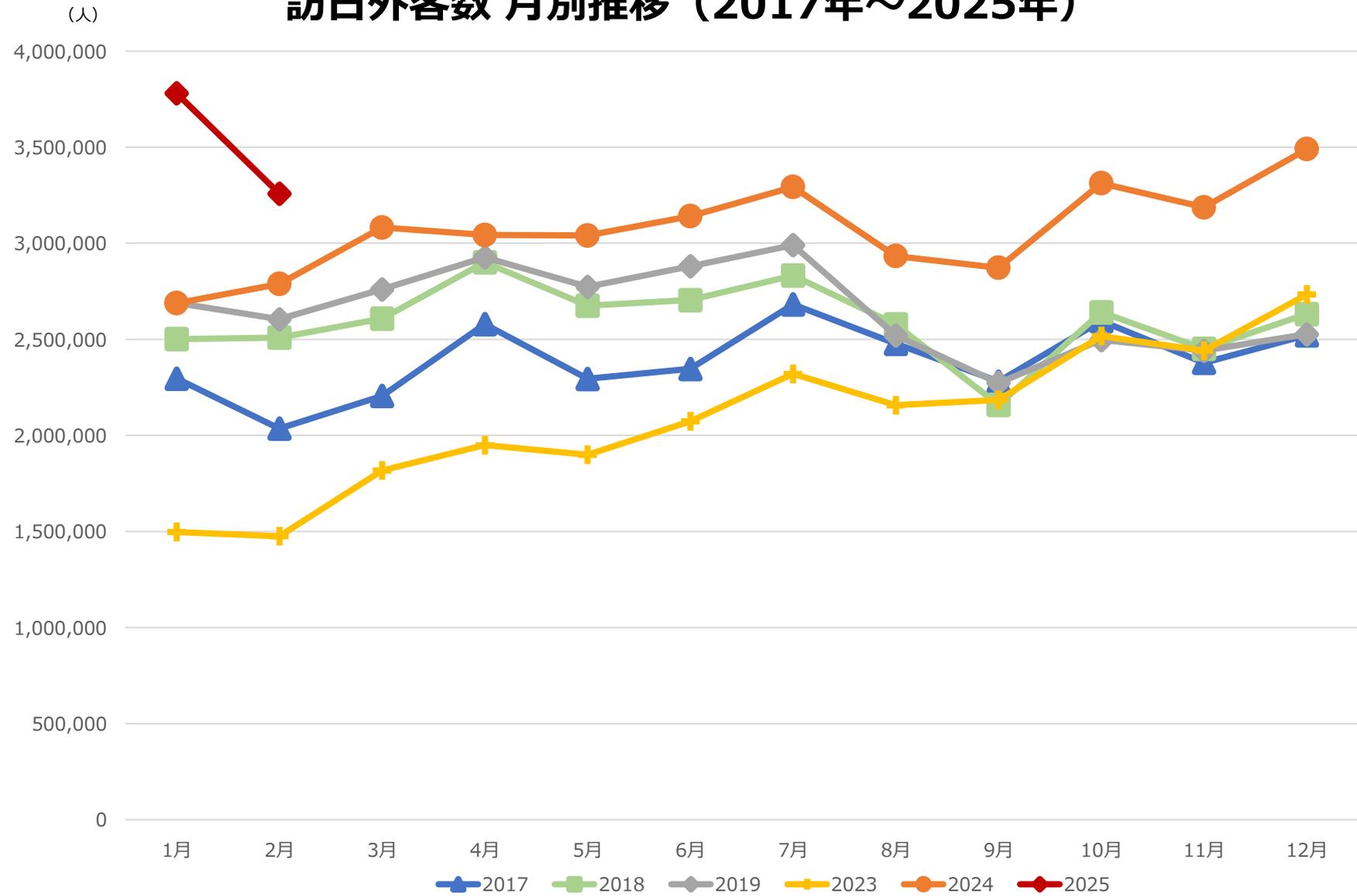
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

# 訪日外客数 月別推移 (2017年~2025年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年~2022年の数値は除く。  
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

# 地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年2月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年3月12日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年2月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

## 全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

## 1. アジア

### ① 東アジア

- 韓国は、847,300人(前年同月比 3.5%増)であった。為替レートがウォン安傾向になったものの、仁川～熊本間や仁川～新千歳間等の期間増便や清州～帯広間等のチャーター便運航等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- 中国は、722,700人(前年同月比 57.3%増)であった。1月下旬から始まったスクールホリデーと春節休暇に加え、大連～成田間、深セン～成田間、広州～福岡間等の増便等の影響や昨今の情勢を踏まえ、競合国よりも日本を選択する動きが見られたこともあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、507,300人(前年同月比 1.0%増)であった。1月下旬から始まったスクールホリデーと旧正月休暇に加え、台北～新千歳間や台北～北九州間等のチャーター便を含む地方路線による航空座席数の増加の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- 香港は、195,500人(前年同月比 5.0%減)であった。前年同月と比較して地方路線を含む増便等の影響により航空座席数が増加したものの、前年は2月中旬からであった旧正月休暇が今年は1月下旬からとなったこともあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

### ② 東南アジア

- タイは、116,800人(前年同月比 15.1%増)であった。査証免除措置による訪中旅行への人気

の高まり等あるものの、継続する冬季の日本人気や、バンコク～中部間の増便など直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

- シンガポールは、42,300人（前年同月比14.6%増）であった。シンガポール～関西間などの直行便の増加、広告などの各種プロモーションの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、64,900人（前年同月比7.8%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、クアラルンプール～新千歳間の増便、マレーシアリングット高や景況感の回復等の影響もあり、2月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、47,000人（前年同月比22.9%増）であった。割安な訪中旅行への人気の高まり等あるものの、ジャカルタ～羽田間の増便などによる直行便数の増加、スノー需要の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、66,700人（前年同月比2.3%増）であった。訪日観光ビザの一時的な発給遅延による影響がみられたものの、マニラ～新千歳間の復便や好調な経済状況を背景とする海外旅行需要の増加等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、73,700人（前年同月比22.5%増）※であった。割安かつ査証免除・取得が容易な東南アジアや中国等への旅行需要の高まり等あるものの、テト休暇の影響もあり訪日外客数は単月として過去最高を更新した。

※ 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、12,900人（前年同月比29.5%増）であった。海外旅行需要の低下する時期であるものの、ベンガルール～成田間の増便、経路便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

## 2. 豪州、北米

- 豪州は、88,800人（前年同月比33.5%増）であった。豪州からのアウトバウンド需要自体が増加している中、継続する訪日旅行の人気やウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- 米国は、191,500人（前年同月比28.8%増）であった。継続する訪日旅行の人気や混雑するシーズンを避け2月に訪日する動きやウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

- **カナダ**は、44,500人（前年同月比 31.3%増）であった。継続する訪日旅行の人気に加え、ウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要や前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、10,800人（前年同月比 40.6%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

### 3. 欧州

- **英国**は、31,400人（前年同月比 21.3%増）であった。継続する訪日旅行人気やスノー需要の伸びに加え、中国経由等の経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、26,500人（前年同月比 19.0%増）であった。継続する訪日旅行人気や若年層の訪日需要の高まりに加え、2月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、18,600人（前年同月比 25.2%増）であった。冬のロングホール旅行の需要は限定的であるものの、継続する訪日旅行人気や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、11,100人（前年同月比 46.9%増）であった。2月は祝日もなくロングホール旅行の需要は限定的であるものの、継続する訪日旅行人気や2024年12月の羽田～ミラノ間の新規就航や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、9,800人（前年同月比 55.0%増）であった。2024年10月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加に加え、継続する訪日旅行人気や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、5,700人（前年同月比 96.1%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、経由便の多様化等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

### 4. 北欧地域

- **北欧地域**は、12,000人（前年同月比 34.5%増）であった。2025年1月末からのストックホルム～羽田間の新規就航により訪日旅行に関する報道が増えていることやスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

## 5. 中東地域

- 中東地域は、10,800人（前年同月比 73.5%増）であった。昨年2月にイスラエルからの訪日者数が減少したことによる反動増や前年同月と比較して直行便数が増加したこと等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。